

平成 27 年度いきいき健康プランにっしん 21 第 2 回推進委員会議事録

日時 平成 28 年 3 月 14 日 火曜日 午後 2 時から午後 3 時まで

会場 日進市保健センター 2 階会議室

出席者 <委員>

大澤功、早川真人、大矢健司、塚本有里、大野忠夫、新美志げ子、深津いさ子、
宇野公秀、小室勢子、桑山一男、林輝夫、伊藤日奈子

<事務局>

山中和彦（健康福祉部長）、浅井金敏（健康福祉部参事）、小塚多佳子（健康課長）、
西尾直樹（同課保健企画係長）、木村文香（同係主査）、福岡千勢（同係主任）

欠席者 <委員>

松田直子、高木伸治、松本秀子、田口良子、秋田ゆかり

(順不同)

傍聴の可否 可

傍聴者の有無 有（4 名）

議事

事務局 委員長、あいさつをお願いします。

(委員長あいさつ)

事務局 本日の会議は公開の会議で、4 名の傍聴希望者がいますので傍聴していただいてもよろしいでしょうか。

委員 (了承)

事務局 それでは入室を許可します。

(傍聴者入室)

事務局 議題の進行につきましては、委員長をお願いいたします。

委員長 議題(1)平成 27 年度事業実施状況について事務局から説明をお願いします。

事務局 説明（資料 1-1、1-2）

委員長 活発に実施していただいているようですが、ご質問、ご意見はございませんか。

委員 今回、マップで関わらせていただきました。今までの6つのマップの大半も日進ウォーカーズが関わっていきまして、その経験も踏まえていたものでかなり充実したマップとなっていると思います。お楽しみにしていただければと思います。

第1次の10年間というのは、いろいろなアイデアや基礎データの集積や、にしん体操などのいろいろな道具をつくったのですが、第2次ではこれをいかに普及させるかということがポイントだと思います。これを効率的に、なおかつ広範囲に行っていかなければならないと感じました。第2次のテーマとしては「普及」と「広範囲」に皆さんに伝わることを、そして伝わるだけでなく実施してもらうことが最終的な目標ですので、そういった点がポイントになると思います。

委員長 協会けんぽと包括協定締結とのことですが、具体的にどのような予定がありますか。

事務局 来年度は、協会けんぽの被保険者のご家族にがん検診をPRすることを考えております。協会けんぽの被保険者本人については協会ががん検診を行っていますが、被扶養者、ご家族についてはがん検診を実施していないことから、日進市民であって協会けんぽに加入されている方には市のがん検診のチラシを同封する協力をいただきましたので、それをまず行います。

今後、どんなことを互いに協力できるのか、体操を事業所にPRしていくなどがん検診以外にも健康づくりについて具体的に考えていこうと思っております。

委員長 いきいき健康プランにしん21第2回ワーキング研究会まとめについて事務局から説明をお願いします。

事務局 説明（資料2）

委員長 ご質問、ご意見はございませんか。

A グループの保健センターによる女性相談会ですが、これは大学の保健センターにおいて婦人科医の指導の下に行っており、必要があれば婦人科受診につなげているものです。他にご意見ありませんでしょうか。

（発言なし）

委員長 議題(2)平成28年度事業実施計画（案）について説明をお願いします。

事務局 説明（資料3-1、3-2）

委員長 次年度も様々な展開をするようです。基本的には、今までの事業に健康マイレージ事業が加わるような印象です。ご質問、ご意見はございませんか。

委員 健康マイレージ事業のなかで、健康づくりのメニューに取り組みポイントを貯めるとあり、にっしん体操スポットでチャレンジシートやポイントを発行するのでしょうか。私の老人クラブではだいたい10名くらいしか集まっていないのでスポット事業に登録していません。この場合もポイント対象になるのでしょうか。ウォーキングでも自分の歩きたいところを歩いている方や、実際ウォーキングマップを使って歩いている方に対し、誰がそれを認定して判を押すのか。また、「夜のつどいの場」ということで第3土曜日に6時から8時までつどいの場をやっています。このチャレンジシートやポイントはつどいの場に参加している人に全部渡すのでしょうか。参加者にどう周知徹底していくのでしょうか。

事務局 おたっしゅボランティアやつどいの場の参加も、健康の取り組みのひとつとしていく予定です。そこに参加されたらポイント加算の対象にする予定です。また、ウォーキングマップを使って歩くこともポイント対象ですが、毎日の健康の取り組みもポイントとし、運動をする、歩数計をつけるなどのウォーキングコースに限らない運動の取り組みもポイントになります。なお、健康の道・ヘルピーウォーキングマップを使って歩くと、更にポイントが加算される仕組みとする予定です。ポイント認定については、自分で取り組んで自分で手元のシートに記入していただくという方法を考えており、どこかで証明してもらおうということではありません。この事業自体が、健康の意識を高めていただく第一歩としていただくこととしておりますので、証明などではなく自分で記入していただく方式としております。ポイントの記入用紙の配布は、保健センターガイドに掲載して各家庭にお届け、又、市ホームページからのダウンロードや公共施設での設置も準備しております。また、健康教育の時にもPRを兼ねて配布しようかと考えております。各施設、各戸配布、保健センターの実施する健康教育などで入手できるかと思えます。

委員長 自己申告ということですね。他にありますか。

委員 これからの時代は高齢化時代です。基本方針「生活習慣」というのは、高齢者のことも指しているものと考えています。がん検診の受診率は向上していますか。

事務局 がん検診は、毎年のキャンペーンや、医師会の先生方のご協力による個別検診や集団検診を行っているところです。受診率は、概ね横ばいといった状況であります。日進はまだまだ人口が伸びており、受診数は伸びているものの受診率の大きな変化はありません。愛知県下では、受診率は上位のほうに入っております、5番目くらいのものや中位くらいのものもあります。これからも一層沢山の方に受けていただき、がんの早期発見につながればと考えております。

委員 がん検診の受診者数が増えてこないと感じています。受診をする方は意識を持って受けていただいているのでいいのですが、働きかけなければならぬのが検診を受けない方です。全く検診に興味を示さない方に、キャンペーンなど使って検査を受けてもらうようにしなければ早期発見にはつながらないので、その対策を今後どうしていくかが一番の課題だと思います。

委員長 タバコを吸われている方、お酒を沢山飲まれている方等いろんながんのリスクを持っている方を重点的に受診するように何とか誘導できればいいとは思いますが、なかなか実際には難しいものです。他に意見はございませんか。

委員 治療として内視鏡でちゃんとポリープから細胞をとって検査をしている方もいるのではないのでしょうか。きちんと管理できている人はいいのですが、意外と子宮にポリープを持っている人も多いと聞きます。閉経時に発症される方などもいるのではないのでしょうか。

委員 第2次計画を推進していってもどうしても2割から3割の「動かない人」はいるのではないのでしょうか。他の自治体では、二次検査をしない人を訪問しているところもあるとのこと。そこまでしないと「動かない人」は動かないです。個人情報配慮などの問題もあるかもしれませんが、人手をかけて、例えば重点的に年齢の高い方からなど、3年、5年、10年などかけて手がけていくことが対策としては一番ベターなのではないのでしょうか。自分は大丈夫だ、病気にならない、と思い込んでいる人は必ずいるはずですよ。

委員 受診した大腸がん検診で精密検査になり、病院で診ていただいたらポリープが見つかり手続きをするという事態にならないと検診を受けないと思います。実際に検診を受けた人の声を聞いて配布物に載せて啓発活動をしていってはどうでしょうか。

事務局 受けてみたら簡単に検査が受けられたのでよかったですよ、という声を載せたり、がんの患者さんがこのように見つかって手術されてお元気ですよ、という記事などご意見もいただきながら、どういった方法が効果的か考え、また工夫をして参りたいと思います。

委員長 がん検診を受けていない人を受診させることも大切ですし、精密検査の必要がある人が受診していないのも問題だと思います。経験談もある程度効果があるかと思えます。がんは治るようになっているのは事実です。その辺りの最新の情報を提供していただければと思います。他にご意見はありますか。

委員 がん検診の郵送物など本当に地道なコツコツとした努力を日々感じております。日進は長寿のまちですが、日々の皆さんの努力と市民一人ひとりの意識が高いおかげであると委員の一人として喜ばしく思っております。

今回、マイレージや新しい竹の山地区のマップ作成など新しいことを始められるようですが、一番大変なのは継続し続けて、日々コツコツ続けることです。マイレージ事業ですが、カードの有効期限がカード発行から1年間とありますが、あまり有効期限を決めないほうがよいのではないのでしょうか。噂が噂を呼び事業は浸透するものです。ロコミになるようにじわじわと努力していただきたく、また途中でやめることなく頑張っていたいただきたいことを一番に思います。

委員長 地道な活動が多いのでいかに継続するか、そのなかでも効率的にどの事業を優先すべきか、その辺りが大変かと思いますがよろしくをお願いします。

委員 検診の受診率のことですが、自分は主人が会社に勤めていた頃は継続的な記録もあり主人の会社の関係で受診を続けていました。その時は市から受診券が送られてきても全部使いませんでした。市の受診率にはそのような数も考慮されているのでしょうか。

事務局 対象者は国で統一して市町村毎に推計した数値になっており、治療中の方や他で検診を受けるといった個人を把握した数値ではありません。

事務局 先ほどの補足として、マイレージ事業につきましては年度毎の事業となっております。これには、健康づくりをできるだけ長く続けていただきたいという思いがあります。また、県の発行するまいかカードの有効期限は1年ということで、日進市独自には設定できないということもあります。しかし、県内どこの協力店でも使えるというメリットもありますのでご理解いただければと思います。まずは、期間を平成28年4月から29年3月末までとして取り組んで参りたいと考えております。

委員長 がん以上に大切なものに高齢者の虚弱、フレイルがあります。どんどん筋が萎縮して歩けなくなってしまい寝たきりになってしまう、これをいかに防ぐかはがん以上にある種大事なことです。高齢者にとって体を動かす習慣をつくること、特別な運動をしなくてもとにかく体を動かすことはQOL、クオリティを維持するのに大切です。そちらのほうもいろんな体操を工夫するなど取り組みをお願いしたいと思います。その他意見はありますか。

(発言なし)

委員長 それでは、3その他に移りますが、何かありますか。

事務局 この委員会は2年が任期となっており、この3月で任期満了となります。今回の会議が最後となりますので、健康福祉部長よりお礼のあいさつをさせていただきます。

(健康福祉部長あいさつ)

事務局 これをもちまして、平成27年度いきいき健康プランにつきん21第2回推進委員会を終了いたします。

本日はありがとうございました。

(午後3時00分終了)